

堺市圏ソーシャルフットボール講習会



DATA

●主な連携先・メンバー

南大阪ソーシャルフットボールチーム Half Time(代表：田淵誠 平山惣一) / 堺市 精神保健課

●活動地域

堺市 / 関西大学堺キャンパス

●活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 1 | 堺市域で活動している精神障がい者の団体等に呼びかけて、ソーシャルフットボール参加希望者を募り、参加者が楽しめる講習会を通じ、精神障がい者の地域での活動の場づくりを行う
- 2 | 精神障がいに対する地域の理解の促進をめざす



連携にいたる経緯

人間健康学部では、精神保健福祉論及び初級障がい者スポーツ指導員等の資格取得に関連した講義を提供している。そこで精神障がいをもつ人が自由に参加するソーシャルフットボールチーム(Half Time)と連携し、本事業を企画した。

活動内容

堺市域で活動している精神障がい者の団体等に呼びかけて参加希望者を募り、半日単位の講習会を7月と翌年3月に開催した。障がい者福祉・障がい者スポーツに関心をもつ本学の学生にもボランティアとして参加を促した。講習会は堺キャンパスアリーナで開催。開会のあいさつ、オリエンテーション、ルール説明、準備体操・アイスブレイキング、ウォーミングアップ、パス・ドリブル・シュート練習、ミニゲーム、整理体操、懇親会、閉会のあいさつ、アンケート記入、といった内容で行った。講習会には、精神障がい者当事者、Half Time等関係団体スタッフ、関西大学関係者(学生ボランティア等)が30名余り参加。

活動の成果

- 1 | 参加者のアンケートでは「楽しかった」「交流になった」という意見が多く、講習会の継続を望む意見が多くを占めた
- 2 | ボランティアとして参加した学生から、「障がい者の全然大きう側面が見えて、その人の理解ができて良かった」「みんなうまく楽しませてもらいました」という声が聞かれた

今後の課題・目標

- 1 | 2018年度に引き続き、同様の事業を継続することで、精神障がい者ソーシャルフットボールの定着と普及を図る
- 2 | こうした障がい者スポーツの普及とともに、その意義の確認と事業の評価を継続する

●教員紹介



人間健康学部 教授 黒田 研二(くろだ けんじ)

黒田教授は、本学で「精神保健福祉論」「医療福祉論」「予防医学」等の講義を担当している。ソーシャルフットボールチーム Half Timeの代表者二人は、日常は精神保健福祉士として堺市内で精神障がい者の相談支援にあたる仕事をしており、黒田教授は、堺市の精神保健福祉の活動を通じて両名と懇意にしている。